



会員バッチの趣意について

- 中心の円…日輪、日の丸、日本の国体、宇宙の真理、教えの生命、不動信念、一心
- 三つの輪…各地同志の輪、過去・現在・未来、因・縁・果、法運先生三つの疑問（注1）、調和・奮闘・無我、智・仁・勇、三位一体

各地同志の輪が、真理の教えを中心に支え護り、後世に、末代に伝え遺す心を表します。

日輪は、日本の象徴、国旗の日の丸、我が国の国体です。法運先生は、日本の国体は宇宙の真理と冥^{みようごう}合（注2）するものとお教え下さいました。

この真理の教えは、過去・現在・未来に亘り、永遠の教えであります。

法運、法得両先生のお遺し下さいました教えを中心に、会員の和を増やし、重ね合わせていけば、永遠の生命の続く盤石の教えとさせて頂けるものと固く信じ、作成したものであります。

(注1) 法運先生三つの疑問

教えの創始、完成者である「法運 小林幸太郎先生」が青年時代に抱かれた大いなる疑問であり、この疑問が私たちの会に遺された「教え」の出発点であります。

※ 三つの疑問

- ① 同じ父親、母親から生まれた兄弟姉妹というものは、同じ機械で、同じ方法で造られたものと言えるわけで、それならば、同じものができねばならぬ筈なのに、利口なのや馬鹿なのや、背の高いのや低いのや、容姿の良いのや悪いのや、等々それこそ千差万別で一様にゆかぬというのはなぜだろう。
- ② 世の中の人々は皆幸せを求めている。そして幸せになれるようにと考えてひたすら努力している。それなのに、幸せになれた人よりも、不幸にあえぎ苦しむ人々の方が比較にならぬほど多い、それはなぜだろう。
- ③ 人智が発達し、文化も高くなった、科学も長足に進歩を示し、医学の面でも研究が進み、よい薬が造られ、お医者さまの技術も飛躍的に高いものになってきた。だから病気で苦しむ人々が減ってよい筈なのに、現実には、病人は益々多く、これまでに進んだ現代医学を以てしても、解決のつかぬ難病、業病があとをたたず、病気そのものの種類さえ多くなっているという。それはなぜだろう。

(注2) 冥^{みようごう}合

知らず知らず一つになること。